

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学科 哲学専攻

- ヤスパースの哲学における実存と超越者の関係  
 に関する考察 青山 和憲
- 遺伝子技術と倫理 〓 遺伝子技術の有効性と  
 優性思想〓 朝日真智子
- C・G・コングの分析心理学と思想について 荒井 博敬
- ドイツ観念論における自由論の考察 上中 理史
- フーコーの思想／主体について 上野 菜美
- M・メルローポントイ 〓 身体と芸術について〓 岡田 広紀
- 「エロティシズム」論 〓 バタイユの『エロティシ  
 ズム』に即して〓 岡本 航
- ニーチェの思想と時代の精神 金崎 舞
- デカルトの道徳について 京戸 渉
- 「自己」について 〓 「生きる」ということ、  
 「死ぬ」ということ〓 北口 真愛
- レヴィナスにおける他者の必然性 清田 寂深
- 〓 『実存から実存者へ』〓
- 個体の存在論と全体化の倫理 黒岡 佳柁
- 〓 サルトル初期の思想〓
- 近代宇宙論におけるデカルト的物質観の意義 小井土実理
- 美と崇高における緊張と対立 〓 リオタール『崇高の分析論』についての  
 講義集から〓 小菊 裕之
- ピュタゴラス 輪廻転生について 後界 昭一
- 他力について 篠永 英之
- サルトルにおける意識の現象学について 菅原 弘樹
- 〓 『自我の超越』を中心に〓
- 「靈性」の哲学 田上 瞬
- 〓 エックハルト神学を中心として
- 表象と説明の持続性 〓 ベルクソンの言葉の  
 厳密性と直観〓 恒川 典子
- 商品としてのコーラ 富田 康男
- 〓 資本主義と欲望〓 西 真人
- 「反キリスト」その形と一種の多様性 西川 朋恵
- 人間関係と母子関係 西田 朋子
- 報道倫理 西田 朋子
- ロバート・ノージックの権利論について 原田 健一
- 〓 自己所有権による個人の権利の強さ〓
- フイヒテ美学の基本思想とその意義 藤野 友加
- 〓 人間存在を核とした現象学の成立に  
 焦点を当てて〓
- ニーチェにみる「パロディ」 藤本 珠実
- 〓 その可能性〓 藤原 博子
- 他性についての諸問題 〓 ドゥルーズによる差異の哲学からの芸術に  
 における表現の問題についての考察 松本 一生
- 生命倫理における原理主義の有効性 宮城真以子
- 生命と倫理 〓 小泉義之『生殖の哲学』を読み解く〓 森 昭允
- マキアヴェリの指導者論について 山口 真貴
- 現存在 〓 その存在論的様相〓 山澤 淳史
- 功利主義と人格の価値 山下 矩正
- 選択的中絶について 吉川 紳也
- 貧困問題における倫理的見解 吉村 依里
- 〓 不平等の再検討〓 米本 雅樹
- 平和への志向 M・ハイデガーにおける言葉と西田幾太郎における  
 言葉 岡本 一生
- エレア派 パルメニデスについて 永原 麻伊
- 〓 探究の道〓 プラトン『ゴルギアス』により
- 人間の悪・快樂について 野村 英里
- 哲学史にみる人間と自然の関係と今後の展開 南 絢子
- 〓 環境倫理学の未来〓

人間理解の基本原理 — 生命が関わりあう

「あいだ」からの考察 — 市川理奈子

経験を超えて受け継がれるもの

北藤 尚実

日本の終末期医療の課題

— 仏教的生命観を参考に — 周治 規子

デカルトの哲学における幸福観について

藤本 真治

アレントの政治思想における

人間の共同性について 池宮 遊平

社会の中で生きていくための欲望と欲求

澤部 大介

初期ストア派の自然学

— ゼノンに見る自然学と現代における

林 伸行

諸価値について

平井 公敏

自然と人間との関わりについて

湯浅 野花

ベンヤミンにおけるアウラ概念と芸術性について

吉村 孝英

現象学的存在論への登攀試論

— 永遠なる存在とヘリキアある存在の意義を

巡って — 木村 俊也

フッサールの他者と自我について

坂部 友紀

自然の権利について

田中 鉄朗

現代におけるカニバニズムについての考察

山根 聡子

ハイデガー…アナクシマンドロスの箴言

— 言葉が言挙げされるとき — 砂場 道子

実証主義論争における社会認識の客観性について

森下 翔太

シモーヌ・ヴェエユ

— 不幸の奥の真理を求めて — 狩野 美紅

アリストテレス『ニコマコス倫理学』について

畑 彩華

恋愛（アバンチュール）の現象学（E・レヴィナス

のエロス論について）

岩下 裕一

ヘーゲル論理学・有論について

石川 泰史

真理への道 — 理性と信仰 — 鄭 英 昌

田辺元『懺悔道としての哲学』による理性批判

佐藤 慶

哲学科 教育人間学専攻

フッサール『論理学研究』に於ける意識概念

について 池田 裕輔

子どもの自己肯定感と人間関係 — 幼児期の

ほめること・叱ることを手がかりに — 一丸今日子

「空気を読む」ことについての人間学的考察

井上 拓宣

ヨーガにおける自己変容 岩本 千聖

現代の家族が抱える問題と家族支援のあり方

— 変わりゆく社会、そして家族の中で — 大上 まゆ

不登校児の居場所づくりに生じた「つながり」

に関する考察 大村 幸代

若年労働者の離職問題

— 大学生の就職活動を通じた考察 — 大八木行雄

人間性をはぐくむ学童保育の可能性 小川 貴昭

柔道と私、そしてそれに伴うメンタルについて

奥田 朋子

よりよき生のために — 音楽・書籍等の言葉を

基に模索する — 奥村 明

ふれることの方 — 身体的接触と癒し — 狩野 郁子

相談できない理由 — グラウンデッド・セオリーか

らのアプローチ — 久保田恵理

チャイコフスキーの人間観

— 三大交響曲からの考察 — 小山 裕絵

弱くあるということ 佐藤 舞

「学び」と自己成長

— 大学生生活における言葉への印象の変化

を中心に — 三戸 亮

大学生のリーダーシップを引き出す鍵と

なるものについて 嶋田 幸恵

— 野外活動実践からの考察 —

大学におけるキャリア教育 嶋田 幸恵

— 立命館大学におけるピア・エデュケーションを

手がかりに — 新村 草

色彩の嗜好と性格との関連性 高橋 美加

「道徳」についての一考察 高松 博之

— 道徳は何によって根拠づけられるのか —

アイデンティティ拡散とアイデンティティ達成

— 語り合い法からのアプローチ — 寺町 美紀

ルソーの利己心論

—教育改革・政治改革による利己心の超克に

ついて— 床枝 亮

コミュニケーションを通じた他者理解について

中谷美佐路

小学校における道徳教育 — 中学年の子どもに

仁張 誠子

対する大人の関わり—

林 トモ子

セルフ・モニタリングと恋愛の関連性について

半田 千尋

乳幼児期における移行対象の役割

—その意味の変化に注目して—

ホッケ―競技者の試合前の心理状態の変化について

唄野いさな

甘えの発達の意味

藤本 昌大

大学生の自立と一人暮らしとの関連性について

藤森さやか

未来の人類が持つべき神話的要素の考察

—第二次世界大戦の反省を通して—

公立小学校高学年における国語科実践

前田 瞳

少年犯罪の心理

松下 裕幸

—自己と他者、命の価値観の相違—

村上 晴香

生きて在ること

山田 良憲

—時間と自由の人間学的探究—

山田 良憲

神戸連続児童殺傷事件の犯人少年Aの動機に

山中望友紀

関する一考察

山中望友紀

自閉的傾向のある子どもへの支援

—京都市立小学校での学生ボランティアを

通して—

山端 沙希

青年期の自己信頼感とロールシヤツハ反応の関連性

山村 歩

近隣集団の光と陰 — 生まれ育った場所のもつ成員

への影響力—

山本 紋子

自我漏洩感を感じる性格特性について

吉村 道孝

ホーナイの神経症論

立開 裕子

求道 — 人は何を求めたらよいのか—

渡邊真理乃

スクールカウンセラーの現状とその必要性を問う

—今後どのような役割を果たしていくべきか—

金川 晴香

消費行動についての一考察

—1986年と2005年の大学生の消費

行動の比較考察から見えるもの—

緒方 祐里

教員研修の現状と課題

—教員が求める学びの場とは—

高野 阿草

『罪と罰』における人物像についての一考察

藤原 未郁

ネットワーク・協力的体制が教師の職場環境

に与える意味 — ケースカンファレンス

とパイプ役の有効性を通して—

福岡 智史

自己愛の再生 — コフォートにおける自己愛理論

とかかわらせて—

川窪 真奈

学校教育を再考する — 求められているものが

本当に必要なのか—

主体として立ちあがるための教育

—とくに学校教育について—

私塾の意義と可能性 — 21世紀を生き抜くための

「キャリア教育の実践」をもとに—

府金 結太

新村 崇

学生の海外留学と自己形成

上田永久子

パーソナリティは変えられるか

—G・A・ケリーのパーソナル・

コンストラクト理論を基に—

二宮 真一

「感性、構築、表現」

—三つの機能とそのバランス—

岡田 尚久

人間形成における美の効用 — ハーバート・リード

の芸術教育論を通して

柏原有紀子

自己拡張による環境認識の変容

—ダイープ・エコロジー思想の自己実現概念を

基にして—

小障子正喜

催眠感受性と熱中度の関連性

齊藤 成嗣

企業におけるメンタルヘルス対策を中心とした

社会保険労務士業務の可能性について

友田 武男

「印象操作」に関する一考察

—「自己呈示」場面における「コミットメント」

の活用—

日笠 美紀

現代社会における「おとな性」について

三木 智博

日本のODAの考察

—援助する側とされる側のズレ—

山本 敏広

かわりから考える人間理解

—障害受容と自立支援の試み—

比嘉あや子

文学科 日本文学専攻

- 三島由紀夫遺作「豊饒の海」論 阿保 悠希  
 森鷗外『キタ・セクスアソス』論 生田 明子  
 群馬県前橋市総社地区に伝わる淀君伝説の生成背景  
 —大渡に集う巫祝芸能者たちの世界— 市戸 美里  
 江戸後期日本人の想像力 —『箱入娘面屋人魚』と  
 『朝比奈小人嶋遊』から— 伊藤利恵子  
 万葉人とかざし —…八、…九番歌を中心に— 糸洲 智美  
 「山之口猿論 文学・詩と音楽」高田渡を通して 宇田 尚之  
 『源氏物語』における「人笑へ」「人笑はれ」  
 —身の抛り所を求める女君たち— 内川友記子  
 井上靖『しろばんば』論 —洪作の個我を 太田 圭香  
 成長させた女性たち— 芥川龍之介「鼻」作品論 越智 仁美  
 —他者と自己— 菊池寛「無名作家の日記」論 梶原 寿彦  
 —無名作家の構造研究— 宇治をめぐる伝承世界の系譜 釜瀬圭一郎  
 「雨月物語・青頭巾」論 河村 大  
 「映画論と才能論」 北村 力也  
 幸田文「きもの」論 河野世津子  
 深沢七郎『植山節考』論 光野由希子  
 保元平治物語研究 —源氏重代の鎧— 河面 美季
- 三島由紀夫「孔雀」論 『ドリアン・グレイの肖像』から読む「孔雀」 小西 祐子  
 憲法染めの伝承背景 —五条天神の精神風景をめぐる— 小森 未記  
 中古文学語彙論 —源氏物語における「カゲ」 「カタチ」を中心に— 後藤 恵子  
 谷崎潤一郎・古典期作品群における様式美論 —「葦刈」にみる完成形— 後藤 寛子  
 木島神社の三柱鳥居をめぐる西の京の水と風景 酒井 茉莉  
 童謡の語彙論的研究 坂部 朱美  
 三島由紀夫『春の雪』 —松枝清顕の精神に見られる背反と一致— 佐藤 浩美  
 夏目漱石『それから』 —誠の愛と倫理的罪— 椎屋 和浩  
 芥川龍之介「羅生門」論 習田加奈子  
 日蓮聖人遺文における反復表現について 末岡 伸男  
 国木田独歩「春の鳥」論 菅原亜希子  
 幻想文学はどこまで可能か —『死の泉』が呈示した可能性— 園田 昌之  
 坂口安吾『夜長姫と耳男』 —説話体作品に現れた本来の「人間」の姿— 平良 梢  
 草間彌生「クリストファー男娼窟」論 高崎 寛子  
 小川未明「赤い蠟燭と人魚」論 高谷 悠  
 —二面性について— 吉行淳之介『暗室』 —「私」の精神の暗部— 竹中 真弓
- 山本周五郎『青べか物語』論 田中 美樹  
 菊池寛「入れ札」論 —人間とは— 谷 亜佑美  
 『赤い蠟燭と人魚』を通して見る小川未明の軌跡 津田 英恵  
 村上春樹「TVピープル」論 常國 高史  
 川上眉山「ゆふだすき」 —「真実」に込められた意味— 富田 英里  
 御神楽にみる宮中鎮魂祭の影響 豊島 昌也  
 「実方説話」研究 —「実方雀説話」について— 中嶋 勇喜  
 J文学とは何か 中田千栄子  
 菊池寛「恩讐の彼方に」論 —市九郎の大誓願成就をめぐる— 中西 朱美  
 吉行淳之介『男と女の子』 —渾身の一作に潜む人間存在の不安定さ— 長尾真由美  
 遊郭の成り立ちをめぐる伝承の系譜 —広島県呉市御手洗遊郭を事例として— 西 正賢  
 『徒然草』第十九段の研究 西田 亮太  
 平安文学における宇治 —源氏物語・宇治十帖をめぐる— 西山 悠子  
 将門説話の研究 島山 基史  
 夏目漱石『こゝろ』論 濱本 恵美  
 澁澤龍彦における人形愛 原田 直子  
 源氏物語の擬態語 —たをたを と なよなよ— 平林 恵理  
 平安時代の女性における手仕事 福江 成美  
 山本有三『路傍の石』 —大衆に支持された作品— 福田早江子

- 『徒然草』第四十四段をめぐって  
兼好の非現実世界への関心——藤崎 祐二  
昭和十年代、獅子文六という試み——藤本 裕美  
——小説・演劇・映画について——襖田 有希  
万葉人の夢信仰——黒澤明と核  
クイズの問題文に見る質問文の先読みについて——古川 洋平  
芥川龍之介「地獄変」論——良秀と大殿と  
語り手のストーリー——升田 晶子  
菊池寛『入れ札』論——2つの『入れ札』から  
見えるもの——松浦 太志  
物語絵巻における季節表現の研究——松岡 知華  
森鷗外『安井夫人』——佐代に秘められた  
母性と美意識——松橋 妙香  
万葉人の春と秋——額田王、春山秋山競憐歌を  
めぐって——三浦 美穂  
『脚をおられた男』——  
——〈近代的身体〉という擬制——三上 聡  
井伏鱒二『珍品堂主人』論——満重 美保  
万葉集一〇九番歌と皇子大津の思い——南 明日香  
小川未明「赤い蠟燭と人魚」論——  
——民俗学からみたモチーフ——宮本 由貴  
「犬」論——中勘助の思想と作品と——向原 真輝  
宮沢賢治「やまなし」論——  
——クラムボンの世界——森山 淑栄  
『珍事集』にみる幕末の一世相——森脇 裕子  
「山の音」の菊子像——  
——親子・夫婦という形の中で——八木 裕美
- 手塚治虫『ブラック・ジャック』論——安田 理世  
『観延政命談』考——  
——実録とその周辺——山口沙耶香  
鬼はどこ？——由比 貴資  
黒澤明と核——  
——「八月の狂詩曲」の位置づけ——横井 嗣也  
林美美子『放浪記』論——吉竹 聡美  
日並皇子挽歌群の考察——吉田 真澄  
朔太郎詩からみる女性観——  
——憧憬の心理——脇山 文香  
太宰治「斜陽」——  
——没落貴族・かず子の「道徳革命」——金 浪芝  
——韓国の日本語中学校教科書研究——コミュニケー  
——シヨン及び身近な日本文化——文 朱姫  
『徒然草』研究——  
——「移る」を感じる心——歌論における余情、幽玄  
——との比較から——上瀬 裕美  
佐藤春夫『西班牙犬の家』論——中嶋 祥子  
天井裏の祭祀——  
——異形の神々を祀る空間——浦崎裕美子  
『鶉衣』研究——  
——『徒然草』引用を通して——島田 尚子  
森鷗外「最後の一句」論——中田なおみ  
流行語大賞はこう選ばれる——大杉 知子  
『徒然草』論——兼好法師の心——新川かおり  
流行語の表現的研究——  
——戦後の流行語にみる「日本人の心」の変遷——辻 英江
- 芥川龍之介『河童』論——  
——河童の世界と人間と——角南紀美子  
ファッション用語の変遷について——仲野 由起  
蟹工船の神髄——  
——小林多喜二が伝えたかったのは——二宮奈津喜  
映画字幕の研究——  
——モナリザ・スマイルを例として——古畑 裕子  
覚一本『平家物語』研究——「無文」における  
——夢想譚解釈を通して——溝部 恵  
菊池寛「父帰る」論——三谷麻奈美  
夏目漱石「こゝろ」論——森 慈子  
「妙花風」考——山岸 博幸  
河辺宮人作歌の研究——  
——おとめの鎮魂をめぐって——二宮 朋美  
谷崎潤一郎「春琴抄」論——  
——佐助の観念愛の形態——丸山 裕子  
東西話芸の比較表現論的研究——大村明日香  
凶事を予言する異類異形たち——  
——『太平記』巻第五「相模入道弄田樂并闘犬事」  
の「不思議」をめぐって——大場 弘治  
菊池寛『三人兄弟』考——  
——童話作家としての出発——木田 和雄  
山本文緒の言葉——田野 利美  
「我等の一団と彼」論——中喜多義博  
泉鏡花『外科室』論——西田 麻理  
国語のイデオロギ——国家語教育批判——納富 章宏  
吉本ばなな「キッチン」論——藤崎 晋吾  
若者言葉の変容について——田川 晴之

谷崎潤一郎「痴人の愛」論

— 讓治とナオミの三つの世界 —

中井英夫「黒島譚」論

さむらい文学としての「東海道四谷怪談」試論

「桜の森の満開の下」論

— 《孤独》という《ふるさと》 —

稲垣足穂の物語り — 地上にて物語るといふ

ことについて —

落窪物語 — その一夫一妻制の主張 —

江國香織が描く恋愛

芥川龍之介 河童論

井上靖『星と祭』 — 死を契機とした新たな

人生観の獲得 — 山本美智子

## 文学科 中国文学専攻

木蘭像の変遷

金瓶梅に出てくる詩について

『聊齋志異』における“よみがえり”について

夔州期の詩から見る杜甫

— 政治への思い —

『春秋左氏伝』に出てくる夢について

『聊齋志異』にみる冥界について

『水滸伝』における酒の役割

『水滸伝』における役所の制度

朴 祐子

手島 彰一

武松 恭子

越山 麻友

菊池 高瑛

北村 剛

上田 俊輔

山下 大輔

山本美智子

飯田 智子

大西 毅

岡村 優

加井 友美

吉川 有紀

木田 巧

清水 惇司

菅野 絵理

『世徳堂本 西遊記』と煉丹術の関連性について

魯迅文学作品における人物の考察

— 日本で親しまれている作品から — 高橋 勇気

郭沫若とタゴールに見る想像の精神について

諸葛亮愛吟詩「染父吟」考

『紅樓夢』における茶の役割

『西遊記』からみる美女像

張芸謀監督の映画作品から見る中国人女性

酒と人生 — 建安から晋宋まで —

蘭亭序の真偽問題について

陶淵明の飲酒詩について

中国文学史における梅の位置づけについての考察

顔真卿 — 生涯とその書 —

唐代における音楽の役割

— 玄宗期を中心に —

『兒女英雄伝』の十三妹はなぜ強い!?

魯迅の思想とその人物像について

日中むかし話比較

物語の中の二郎神

— 『封神演義』を中心に —

日中における宮中の女性の嫉妬

『三国志』における名将

魏の武將を中心として

杉田有佳理

武内 優太

竹中 友紀

田中 愛

徳原 蓉子

戸山 裕梨

中尾 仁美

中嶋 夕記

中西 裕子

中畑 猛

中村あゆみ

永田 尚子

萩原めぐみ

橋本 恭介

林 祐子

福岡 千穂

船津くらら

前田 哲

『三侠五義』における夢の役割について 松下 尚子

『三国志演義』における道士と道教について

『紅樓夢』における葉について 松本 花菜

中国詩歌の風と哀傷 宮崎 恵子

武術からみる花関索の魅力 八木 裕子

『傷逝』から考える魯迅の恋愛思考について 山崎 直哉

清代の文化から見る『兒女英雄伝』の魅力 山田 絵麻

『三国志演義』における武器の役割について 渡辺 千穂

魯迅「傷逝」 — 涓生の手記 — に描かれて 伊藤 菜那

いる恋愛について 伊藤 崇尚

『孟子』の人民観 魚玄機について

— 作品からみる唐代の女性像 — 岡風呂美知子

関漢卿「竇娥冤」と袁于令「金鎖記」の比較 小橋 幸浩

— 元雜劇の南戯化について — 山元 愛子

王充の死生観 山元 愛子

魯迅と女性解放運動 中清水 愛

曹植の生涯と詩 畑 留美子

「祝福」に見る魯迅の女性解放の視点 山岡 千里

農村と文学 根末 正人

日中の三国志 大西 周

劉禹錫『竹枝詞』について

樂府詩における位置づけ

林 真代

文学科 英米文学専攻

- Graham Greene, *Brighton Rock* 研究 大浦あゆみ  
 Research into *Peter Pan* by J.M. Barrie 大浦 里映  
 What is growing up? Cappote, Truman, *The Grass Harp* 研究 樹の家とつづ幻想の世界がもたらしたもの— 大西英理香  
 J.M. Barrie's *Peter Pan*: The Secret of Peter Pan's Birth 岡田 朋子  
 Team Teaching among Japanese Teachers of English and Assistant English Teachers in Japanese Junior and Senior High Schools: Problems and Possible Solutions 海部祐希子  
 Sylvia Plath *Ariel* 研究 自己と他者 巨野 瑛梨  
 Toni Morrison, *Sula* 研究 — *Sula*における Nelの生き方が意味するもの— 梶 智恵  
 E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究 唐澤 弓恵  
 A Study of Yann Martel's *Life of Pi*: the thing what Pi achieves through his survival 河内 梢  
 Zora Neale Hurston's *Their Eyes Were Watching God* 研究 — Janieの果たした夢と地平線の意味— 川上亜紗美  
 Emily Carr's *Klee Wyck*: Real Emily Carr Hiding Behind Her Prose 川村 奈緒  
 A *Passage to Indid* における人間のつながり 高山早和子  
 GeorgeジュリアのLennieの存在— 遠藤三恵子 動詞の意味のずれ 小柴 美香
- Langston Hughesの詩研究 — 黒人差別をよのよに描ったのか— 近藤 美佳  
 Kate Chopin, *The Awakening* 研究 — Ednaの最期をめぐって— 佐々木 梢  
 Theodore Dreiserの *sister Carrie* 研究 — 都会の欲望に翻弄されたキャリー— 佐野亜季子  
 E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究 — 3人の成長 芝原三友紀  
 W.P. Kinsella's *Shoelless Joe*: Why does the story attract many people? 杉原 大輔  
 E.M. Forster 研究 象徴的瞬間について 周参見明宏  
 John Ronald Reuel Tolkien's *The Lord of the Rings*: The Role of One Ring 鈴木 美香  
*The Raven and other Poems* 研究 Poeが詩の中で描った神秘 住ノ江晴香  
 Theodore Dreiser, *Sister Carrie* 研究 — 物質的富を追求求めたCarrie 高谷 恭子  
 二重目的の語構文 田北 圭  
 L.Frank Baum's *The Wizard of Oz* 研究 ~ 当時のアメリカが魅せられたその世界観~ 田口 加奈  
 E.M. forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究 — イタリアび人は変わるのか 武内とみえ  
 E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究 — 自己の発見と解放について 竹岡 順子
- William Faulkner, *The Sound and the Fury* 研究 赤松 晋也  
 — 女Quentinの迷宮について—  
 P.L. Travers's *Mary Poppins*: The attractive Nannie and British class consciousness 有本 純子  
 Zora Neale Hurston's *Their Eyes Were Watching God* 研究 — シェイニーの成長— 井口 春香  
 John Steinbeck, *Of Mice and Men* 研究 — 物語におけるレニーの役割について— 池上 薫  
 E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究: — 自己発見と価値観 池浪 恵美  
 — 自己発見と価値観 Toni Morrison *Sula* 研究 ポトムにおいて Sulaが成し遂げたことは何だったのか 石井 由衣  
 Ernest Hemingway *The Old Man and the Sea* 研究 サンチャゴの精神 石川明日香  
 Tough 構文について 伊藤 一樹  
 動詞 + 不変化詞の意味論 井原 直之  
 E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究 — 作中人物の自己変容について— 岩井砂弥佳  
 Ernest Hemingway's *A Farewell to Arms* 研究 フレデリックについて「生」と「死」 嬉野佳能子  
 John Steinbeck, *Of Mice and Men* 研究 — GeorgeジュリアのLennieの存在— 遠藤三恵子 動詞の意味のずれ 小柴 美香

- Henry James, *The Portrait of a Lady*  
 — 小説 Isabel 的 Osmond の元へ戻って  
 いったのか — 竹花 尚美
- Laure Ingalls Wilder's *Little House on the Prairie*:  
 Laura and the West 武原 愛
- Adventures of Huckleberry Finn 研究  
 — ホックの成長に込められたトウウェインの主張に  
 ついて — 辻 大樹
- 英語前置詞 of に ついて 常田 幸
- オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』  
 研究 豊田 理恵
- Kazuo Ishiguro's *The Remains of the Day*: How  
 does the protagonist hide his humanity? 中芝 雄大
- E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究  
 — 個々の内面的変化と解放について — 中田 直花
- Levis Carroll's *Alice's Adventures in Wonderland*:  
 What does Alice find in wonderland? 中本 梓
- Zora Neale Hurston 研究 — Their Eyes  
 Were Watching God の比喩分析 — 長倉 恵子
- F.S. Fitzgerald, *The Great Gatsby* 研究  
 — ヒックの東部体験によって変化した道徳的観念  
 — 永田 依子
- E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究  
 — ジーノの実像 新谷恵三乃
- Alice Walker, *The Third Life of Grange Copeland*  
 研究  
 — グレンジの過去との闘いと人間性の回復 — 野添 暢世
- Anita Brookner, *Fraud* 研究 林 美樹
- Henry James, *The Portrait of a Lady* 研究  
 — Henry James が見た 2 つのアメリカ — 馬場 猛
- E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread*  
 — イギリスの価値観とイタリアの価値観が登場人  
 物に与える影響 — 平井なな恵
- When の謙歩的意味 廣田 義明
- Le Guin, Ursula K. の *A Wizard of Earthsea* 研究  
 — 影と光の敵と戦う意味 福島悠紀子
- Their Eyes were Watching God 研究 — Janie の  
 「世界」と太陽・月の関係 — 藤井 幸花
- Ernest Hemingway, *The Sun Also Rises* 研究  
 — Hemingway の メンジャーメンチ — 藤岡あゆみ
- Zora Neale Hurston, *Their Eyes Were Watching  
 God* 研究 — 作品の中における神の存在 — 藤田 彩
- A Study of "the Woman of The Sea" and "Katik":  
 How Nerrivik affected the Inuit people's life 藤本 依里
- Kazuo Ishiguro, *The Remains of the Day* 研究 藤原めぐみ
- 基本動詞 come/go の語義形成メカニズム  
 に関する考察 堀場 裕之
- Elwyn Brooks White の児童文学作品研究  
 — 作品の共通点と作者の価値観 前川 優香
- Edgar Allan Poe, "The Black Cat" "The Tell-Tale  
 Heart" 研究 — 2 作品を通じた Poe の思考 — 前田 麻衣
- 人間としての生きるとは何か — 前田 麻衣
- Lucy Maud Montgomery's *Anne of Green Gables*:  
 Female and Male Characters, and Autobiographical  
 Elements in the Text 前田 雅美
- Re の研究  
 — Clitic Position と二重目的語構文 — 松江 俊介
- 早期英語教育の在り方 松畑 愁梨
- The Color Purple* 研究  
 — マナーを自立へ導いたものの 南 香織
- Williams, William Carlos, *Paterson* 研究 第 3 卷  
 「図書館」におけるウイリアムズのアメリカ 南 千恵
- Henry James, *The Portrait of a Lady* 研究  
 — Isabel の生き方について — 宮崎 香奈
- Zora Neale Hurston 研究  
 — *Their Eyes Were Watching God* について Janie の  
 成長と著者の訴え — 村田 千恵
- ウイリアム・カロス・ウイリアムズ研究  
 — *Spring and All* 全体から見た "The Red  
 Wheel barrow" について — 森本 純菜
- Toni Morrison, *SULA* 研究 — Sula のバラのあや  
 の意味について — 薬師 雅子
- E.M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究  
 藪中明希子



- A Study of William Blake's *Songs of Innocence and of Experience*: The Exploration into Nature called "Human Soul" 山平 志保
- Theodore Dreiser, *Sister Carrie* 研究  
— Corrieが暗示する消費文化社会の光と影について— 山本 麻代
- A.A. Milne's *Winnie-the-Pooh*: Why is this book loved by many people in the world? 由井 彩子
- Zora Heale Hurston 研究  
— *Their Eyes Were Watching God*について— 黒人大衆文化について— 脇 菜々子
- The Color Purple* 研究  
— 抑圧からの自立— 渡邊 恭子
- Kate Chopin, *the Awakening* 研究  
— Ednaの挑戦する魂— 渡辺 望
- A Christmas Carol* by Charles Dickens: What can people learn from the story? 渡辺 優子
- W.P. Kinsella's *Shoelless Joe*: Relations to J.D. Salinger's *Catcher in the Rye*, Characters in the Text, and Kinsella's other Baseball Novels 和田ひとみ
- Langston Hughes 研究  
— Hughesが描いたハーレム— 黄 飛翔
- Where Angels Fear to Tread 研究 田中 友佳
- 『ある婦人の肖像』について  
— イザベルの人生の変容と彼女が得たもの— 山本万莉子
- A Study of *Chorus of Mushrooms* by Hiromi Goto 古市 亜希
- Arthur Conan Doyle's *A Study in Scarlet and the Sign of Four*: What Holmes deserves 末吉 拓也
- Gabrielle Roy's *Garden in the Wind*: Pilgrimage to Seek the Meaning of a Life 角 かり恵
- 法則動詞mustの用法 江本久美子
- Mary Barton*についてEstherの役割 福島 裕子
- A Study of *Anne of Green Gables*: A Traditional and An Original Family Story 藤森 由梨
- ヘンリー・ジェームズ『ライジー・ミラー』研究 木ノ原舞子
- オスカー・ワイルド『サロメ』研究 坂下 彩子
- Toni Morrison, *The Bluest Eye* 研究  
— 何故ピコラは悲劇的な結末を迎えたのか— 田中 麻衣
- Anne's growth in Lucy Maud Montgomery's *Anne of Green Gables*: Happiness and Sorrow Shinsuke Nishinaka
- E.M. Forster 「Where Angels Fear to Tread」の研究 瓢野 益子
- J.D. Salinger 『ライ麦畑でつかまえて』研究 古川 知佳
- グレアム・グリーン『情事の終わり』研究 上野 貴明
- ジェイン・オースティン『高慢と偏見』研究 小林 佑紀
- 新旧の対立する価値観—
- Bernard Malamud's *The Assistant*: Why Frank Alpine converts to Judaism 田中 万里
- Nicholas Sparks's *The Notebook*: American Men's Attitude toward Love 土井美由紀
- Pride and Prejudice* 研究 — 四組の結婚とオースティンに関する考察— 牧野 瑞穂
- Bernard Malamud 研究  
— "The Magic Barrel"の普遍的ユダヤ性について— 森下 朋美
- J.D. Salinger, *The Catcher in the Rye* 研究 花田 麻依
- トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』についての研究 小谷 陽一
- E.M. Forester, *Where Angels Fear to Tread* 研究  
— 作品中の人物に見られるイギリス、イタリア、それぞれの国民性について— 園下 倫史
- 法助動詞can及びその関連用法について 植松 庸
- 冠詞について 川村 嘉輝
- 英語におけるゼロ冠詞の重要性と意識化— 空間表現の日英比較 山内 悠
- 史学科 日本史学専攻
- 外務省創設以前の明治政府の外交 青野 絵美
- 二年間の意義—
- 竪穴式住居から見た弥生から古墳時代前期の集落  
— 畿内とその周辺地域を中心に— 浅井 猛宏

- 第一次世界大戦後における憲政会の対中認識  
麻生 雅大
- 中部高地における縄文時代の玉類  
浅香 需
- 太平洋戦争末期における大本営移転に関する考察  
朝日沙弥香
- 縄文土器の胎土の選択性  
阿部 嘉幸
- 近世京都の町触に関する考察  
池内 将貴
- 願触・入札触を題材に—  
一九〇六年東京市電値上げ反対事件と東京市民  
石川 寛晃
- 近代化におけるパン  
—パンの『代用食』史—  
石塚 佳子
- 戦国期武田氏の経済基盤  
—今川氏・後北条氏との比較を通して—  
磯見 旭人
- 戦国期における守護権力  
—六角氏を素材として—  
伊藤 芳樹
- 律令国家における天皇観  
—『続日本紀』の「新王朝」意識の是非—  
上埜 真志
- 蹴鞠の関東伝播  
—鎌倉初中期における蹴鞠の意義と役割—  
内田 沙希
- 明治前期における京都博覧会事業について  
宇野 勇一
- 近世の武士と刀  
—刀剣観の変遷と武道への影響—  
岡 瑞紀
- 中世後期における畿島流通支配  
吉田 聡
- 十五世紀後半以後十六世紀初頭の遣明船派遣  
尾形 歩
- 近世京都商家における老人の人生儀礼  
—京都町式目と岡田家文書を通して—  
尾上 仁美
- 明治・大正期の唱歌教育とポピュラー音楽  
勝田 健太
- 江戸時代の衣服に見る色  
加茂 瑞穂
- 古代における俘囚の実態と国家の移民政策  
—柵戸移住に関連して—  
河原 梓水
- 遺物の堆積状況からみた縄文時代の食料獲得活動の変化  
河原 千絵
- 山田寅次郎について  
川村 雄規
- 伴天連追放令の背景  
菊池 真一
- 八幡製鉄所と田中熊吉  
—八幡製鉄所における宿老と職工を中心に—  
岸田このみ
- 中世における巫女存在形態と歴史の変遷  
—春日社・祇園社の例を中心に—  
郡司 明子
- 美人の基準  
—言説・化粧品・広告から考える—  
小出治都子
- 日本古代仏教史における戒律観の変化  
駒井 匠
- 大和における古墳時代の滑石製品  
駒井乃梨子
- 幕末期における柳河藩  
—西南雄藩の狭間で—  
坂田 裕子
- 八丈島・檜立地区の唄と踊りに関する一考察  
佐藤 佳子
- 中世における穢観念の考察  
—天下触穢を中心として—  
佐藤 忍
- 井上内親王廢后事件の必要性  
—転機としての役割—  
佐藤 慶実
- 鯨絵と安政大地震  
塩谷 知美
- 天理教の台湾布教  
—終戦までの活動を中心に—  
志賀みちえ
- 第一次世界大戦期における日本の参戦問題  
島村 大樹
- 名古屋の盛り場大須について  
—製作技法と使用方法に関する一考察—  
下田真里子
- 近世・近代の男女関係  
—不義密通を事例として—  
白井 由美
- 戦国期の京都町衆と法華宗  
—近衛家との関係を中心に—  
白石ゆかり
- 煙草専売制の成立と煙草産業  
—比叡山延暦寺の事例を中心に—  
鈴木 宏和
- 戦国期における築城規制の様相  
—北海道・札幌地方を中心に—  
高津 浩司
- 職業産婆の誕生と産婆の実像  
—猫の文化史を中心に—  
高橋 彩
- 戦時下のプロ野球人気  
—高師直発給文書における執事制度の成立と展開—  
田中 誠
- 明治期における日米茶貿易の考察  
—不正茶を中心に—  
田中 里枝
- 古代の「村」に関する一考察  
戦後教育改革と学校奉安殿撤去問題  
—京都府の事例を中心に—  
谷口 征一
- 中部高地における縄文時代の石材流通  
谷口 裕世
- 塚原 秀之

元田永孚の思想の変遷 —前半生期から

明治時代前期を中心に — 辻井 卓満

縄文時代における貝輪の意義

—九州地方を中心として— 辻嶋 和彦

土岐明智氏の研究

坪川 卓裕

武市瑞山に関する一考案

武市瑞山と 戸田 一亨

大石弥太郎の関係を中心に

近代における身体 戸田 敬己

中世北勢地方の武士

戸津井俊介

中世の武士道

中川 俊克

近世における厄神信仰

中根 明子

冷静と情熱の間

石材獲得と石器製作

中山みきとその教理

中野 仁美

形成過程について

永井 千賀

古墳出土の鉄製鍛冶工具

濱崎 範子

—鉄鉗と鉄鋤を中心に—

平田 啓浩

近江における装飾壺の様相

藤田 好美

テレビ番組動向と地域差

藤村 翔

テレビ欄を使って

宮奥 彩

『平家物語』における女人往生

向井 佑子

『女人往生思想を手がかりに』

豊臣秀吉の京都改造について

近世における京都改造の役割とその位置付け

近世尾張の鋳物業

鍋釜のサイクル構造の考察

木村兼葎堂の史料をもとに

近世尾張の鋳物業

鍋釜のサイクル構造の考察

立命館大学文学部卒業論文題目

明治・大正期の京都における女性の髪型

森 美鈴

森有礼の「国家主義教育」

安野 雄一

装飾古墳の東西

山崎 雅美

松下村塾について

山村 哲也

その塾生と吉田松陰の関係

山本 小百合

山本覚馬

山本 倫弘

京都の恩人と呼ばれたその背景

山本 倫弘

中世伊勢神宮の在地支配

吉秋 亘

近世における林野所有形態の変遷

吉村 駿吾

加賀藩一地域の山論を通して見る

龍 佳世

石材獲得と石器製作

吉村 駿吾

縄文時代後晩期における南山城地方の事例

龍 佳世

からみた一様相

渡辺 愛子

中世城郭から近世城郭への変遷

渡辺 愛子

近江の城郭を事例に

渡辺 愛子

「壮士」・川上音二郎 —新派劇の祖と

渡辺 愛子

明治期における演劇改良

渡辺 愛子

近世信楽における窯業生産

渡辺 愛子

信楽焼からみる信楽地域の様相

渡辺 直子

日本人カナダ移民とバンクーバー事件

渡辺 直子

事件発生の原因を中心に

渡辺 直子

断香 —香道前史としての香

渡辺 直子

戦前・戦後の上院思想

渡辺 直子

成立課程を通じて

渡辺 直子

貴革論争・参議院

渡辺 直子

豊臣秀吉の京都改造について

渡辺 直子

近世における京都改造の役割とその位置付け

渡辺 直子

近世尾張の鋳物業

渡辺 直子

鍋釜のサイクル構造の考察

渡辺 直子

木村兼葎堂の史料をもとに

渡辺 直子

近世尾張の鋳物業

渡辺 直子

鍋釜のサイクル構造の考察

渡辺 直子

立命館大学文学部卒業論文題目

渡辺 直子

渡来人の職掌変遷 —畿内における

廣瀬 豊樹

渡来人の外交職掌について

廣瀬 豊樹

名古屋藩藩法の形罰規定に関する考察

廣瀬 豊樹

なぜ名古屋藩では近代的自由刑の創出が

廣瀬 豊樹

みられなかったのか

廣瀬 豊樹

古代における大神神社の信仰について

廣瀬 豊樹

衣の生活文化

廣瀬 豊樹

攘夷行動と思想

廣瀬 豊樹

「生麦事件」と「下関事件」に関する攘夷論

廣瀬 豊樹

を考察する

廣瀬 豊樹

狩野派の成立

廣瀬 豊樹

—画様の規格化とその背景—

廣瀬 豊樹

古代における忌部氏の分布

廣瀬 豊樹

廃藩置県と木戸孝允

廣瀬 豊樹

—廃藩構想に見る

廣瀬 豊樹

維新官僚層の中央集権

廣瀬 豊樹

蛇行剣の特殊性

廣瀬 豊樹

近畿における中近世石像物の一様相

廣瀬 豊樹

近江国 徳源院宝篋印塔群を中心に

廣瀬 豊樹

古代聖徳太子信仰の成立と展開

廣瀬 豊樹

デットマール・クラマー

廣瀬 豊樹

—五つの提言と日本サッカー—

廣瀬 豊樹

在日朝鮮人の名前について

廣瀬 豊樹

通詞について

廣瀬 豊樹

—役料と犯罪の二側面を中心に—

廣瀬 豊樹

『玉葉』の史料論

廣瀬 豊樹

土佐一条氏の研究

廣瀬 豊樹

日韓サッカーのはじまり

政治的側面から見えるもの

石原 光弘

陶行知の教育運動についての研究

國安 陽子

漢代における東海郡について

東 愛子

清代捐納に関する一考察

久田 稔

袁世凱の新たな人物像

堀 隼人

則天武后期の酷吏について

松本 圭

唐代宦官と枢密使制の確立について

三上 亮太

弓箭社の実態的研究

三宅 喬

清代地方官の解任について

安河内英臣

中国の女性権力者 — 呂后、則天武后と

矢頭 彩

西太后を比較して —

横山 直大

銀雀山漢墓竹簡 孫子兵法呉問篇解題

吉田 慎介

徐光啓の政治活動と北虜問題

渡邊 卓哉

清末職業外交官の活動と思想

麻野 桃子

韓国における儒教文化の変容

伊東 浩二

— 「祭祀」儀礼を中心に —

田村 靖尚

老子における聖人

鶴巻 龍童

明代の倭寇対策

寺田麻衣子

後期倭寇を中心に

中井 敦英

日清戦争の研究

中村 太一

— 清国海軍を中心に —

二宮 祥暢

唐代の胡商について

水川雄一郎

日中関係について

孫子から見る春秋戦国時代の戦争

蔡襄『荔枝譜』研究序説

山本 維

明代における火薬兵器技術の発展について

森野 傳雄

茶貿易から見る東アジア「近代化」の一考察

倭寇の刀術について

林 裕子

宋代、庶民の衣生活について

橋本 佳奈

花鳥画とその画題について

宋代を中心に

宋代を中心に

酒井 麻耶

唐武宗朝と宣宗朝の進出出身者についての比較と考察  
阿路川真也  
在本 悠一

中国医学における鍼について  
五十嵐信之

杭州西湖の変遷  
章太炎の革命思想について  
池田 将樹

中国伝来当初の煙草と喫煙文化の形成について  
石橋 達郎

中国における秘密結社の存在について  
乾 圭一郎

— 明清代を中心にして —  
井上 貴博

明代の軍事火器  
植田 雄介

『管子』弟子職篇について  
太田 良佳

中国の環境汚染問題について  
ケマリズム

— 可能性としてのトルコ革命 —  
奥 隆生

清朝における後宮での生活と皇后の生涯に  
加藤さやか

ついでにの考察  
金子 雅一

清代中国の法制度と法思想  
鎌田 康弘

朝貢貿易について  
— 琉球を中心として —

— 琉球を中心として —  
川合裕香梨

アクバルの宗教融和政策について  
川村 貴美

江青に関する一考察  
清野 和夏

禹 — 神話と歴史の狭間 —

陶行知の教育運動についての研究

國安 陽子

— 平民教育から農村教育へ —

久米 志朗

明の衰退と清の発展について

小林 秀俊

儒教の国教化について

齋藤 知明

隋代・唐代初期の内道場

毛沢東『体育之研究』を中心として

酒井 麻耶

中国における体育

中国宋代における喫茶・茶館についての考察

篠田 浩司

雲夢睡虎地秦簡「為吏之道」についての考察

津里 未央

明清時代の経済都市について

— 特に蘇州府を中心に —

竹村 雅晴

後漢光武帝期の軍隊について

田中 一輝

『营造法式』の理解

丹後 幸恵

『营造法式』の理解

— 鋪作（斗拱）の功限 —

趙 琴実

水月観音図について

— 高麗時代を中心に —

椿 侑介

— 高麗時代を中心に —

明代政治構造における宦官の諸問題

豊田麻依子

太平天国の女性政策

章炳麟の統治思想と政治活動

中塚 翔太

金代における女真人の漢人化に関する一考察

— 漢人の女真化も含めて —

長坂あゆみ

— 漢人の女真化も含めて —

木綿以前の衣料

— 宋代、庶民の衣生活について —

橋本 佳奈

— 宋代、庶民の衣生活について —

花鳥画とその画題について

宋代を中心に

酒井 麻耶

— 宋代を中心に —

林 裕子

倭寇の刀術について

森野 傳雄

桓公攻後の斉について

杵島 芳洋

”虎”の概念

ボスニア・ヘルツェゴビナをめぐる民族抗争の原因と民族アイデンティティ

大庭 学

中国小説史と文化史の中で

上枝恵莉子

ロビン・フッド伝説に見る義賊と民衆

岡嶋 俊文

月に見る李白の孤獨

6世紀ユスティニアヌス帝期における

鎌田 耕平

安祿山の乱に至るまでの迷走

森永 優子

聖ソフィア大聖堂建設の意義

鎌田 耕平

『救荒本草』にみる明代本草書

荻山真由香

フランス婚姻思想の展開

鎌田 一見

史学科 西洋史学専攻

「脱」国民国家とドイツ

木下 淳一

ドイツユダヤ人に見るアイデンティティの形成

浅野 舞

中世トスカーナ地方における都市とその周辺領域

北山奈央子

と今後の民族のありかた

浅野 舞

西洋と日本の都市

木田 哲也

19世紀イギリス資本主義をめぐる研究史

浅見 仁孝

ルネサンス・イタリアの君主と神話：フィレンツェ

木田 哲也

ジェントルマン資本主義論の評価

池村 憲太

公コジモ1世と「エトルリア神話」について

窪田 彩子

過去の克服に挑むドイツと日本

池村 憲太

現代社会と時間意識

窪田 尚史

20世紀前半のアメリカにおけるラジオの発達と

石暮 利彦

時間を巡る商人と教会の関係

小泉 宏之

ナシヨナリズム

石暮 利彦

スウェーデン社会福祉からの考察

甲田 修

よりよい人生のために

井関 貴子

近世イタリアにおけるベスト流行

小沼友紀恵

女性性の現状に学ぶ真の新しい女性

井関 貴子

価値観の変化と医療制度改革

小沼友紀恵

ケルト概念を問う

伊東 希恵

中世の巡礼にみる異文化体験

小橋さやか

民族性の累積と「ケルト」らしさの創出

伊東 希恵

中世末期から近世初期にかけての都市と

小原由佳子

フランス革命における民衆心性

伊藤 大介

楽師兄弟団について

小原由佳子

マラー葬儀にみるギロチンのシンボル性

伊藤 大介

1950年代から1970年代のイギリスの若者文

小原由佳子

DNA時代の優生学：DNAの発見と人間観の変化

浦上武次郎

社会的立場

小林 真理

フランス宮廷バレエと王権

大石 主

中世アイルランドにおける聖俗共同体社会

佐久間亮平

DNA時代の優生学：DNAの発見と人間観の変化

浦上武次郎

社会的立場

佐久間亮平

フランス宮廷バレエと王権

大石 主

中世アイルランドにおける聖俗共同体社会

佐久間亮平

DNA時代の優生学：DNAの発見と人間観の変化

浦上武次郎

社会的立場

佐久間亮平

フランス宮廷バレエと王権

大石 主

中世アイルランドにおける聖俗共同体社会

佐久間亮平

フランス宮廷バレエと王権

大石 主

中世アイルランドにおける聖俗共同体社会

佐久間亮平

ジャン・ボダンから見る国家と魔女狩り

櫻井 悟史

黄金と森林のミケーネ文明崩壊の謎

嶋田 幸

古代エジプトにおける来世への憧れ：「死後の再生」という考えの発達について

鈴木 藍

インカの専門家集団ミティマエス — 動的な

鈴木 光雄

インカ像構築のための一試論

鈴木 光雄

1970年代以降のアメリカにおけるヴェトナム戦争と原爆投下の記憶：「勝者の物語」と相容れない戦争の記憶をめぐって

清田 志保

ゲッターに生きるアメリカの黒人貧困層：70年代から現在に至るアメリカ黒人の姿

高嶋ひとみ

Finding Her Niche Overcoming Racism and Sexism: Nella Larsen's Voyage in *Quicksand* and *Passing*

高野 寛之

パリ万博とパリ民衆の消費感覚の変遷

高橋 崇矩

フーリガンはなぜ暴れるのか

高橋 崇矩

スポーツが引き起こす興奮とイギリス社会の問題点

高橋 優子

ルイ・ヴィトン革命 — 日本沸騰

田中 智子

ホロコースト記念碑建設過程を通して記憶の表象と伝達のあり方を考察する

田中 直

インカ帝国の商業：チンチャの商人とその活動

津國 祥夫

黒人問題（1960代を中心に）

辻本 竜晃

ドイツ教育制度の自律と権利

寺田 友紀

そこに居る日本の教育の未来とは

寺田 友紀

イギリス人「らしさ」とはなにか

出島 宣寿

- 百貨店の成立と発展…19世紀後半フランスに  
おける消費文化の誕生 西尾 彩乃
- 中近世フランスの王権信仰を通して見る王権の聖性と民衆の心性 野手 大輔
- ヴィクトリア朝・イングランドにおける娼婦性のダブルスタンダードの存在 林 誠
- インディアン・リザヴェーションへの再評価  
—多文化主義の高次化を目指して— 林田 大吾
- 若者とロック  
1950～60年代アメリカ若者文化から見る  
ロックを消費する意味 福留 健勝
- 中世イングランドにおける聖人崇敬の意義 藤井 愛
- 中世の身分秩序…周縁集団と衣服表象 藤川 智春
- 中世ヨーロッパ社会における亡霊の没落と復活  
—民衆教化にみる相互浸透過程をめぐって— 藤田 智子
- 戦争の記憶を抱えて生きる…ヴェトナム戦争記念碑とティム・オブライエン 古谷 誠悟
- ナチス・ドイツの教育に見る体験型教育…ヒトラー・ユーゲントを中心に 本田 悟子
- 被征服に伴うインカ帝国・インディオの宗教観の変遷 牧野恵梨子
- フランス七月王政下のストライキ運動  
—職人のソシアリティをめぐって— 正村 尚弥
- アメリカ合衆国における市民的自由の抑圧…マッカーシズムと愛国者法に見る国民統合 松永麻理子
- アメリカ外交における中米地域政策…モンロー・ドクトリンと介入のメカニズム 美坂 正明
- 現代アメリカにおける記憶の再構築…マイノリティの過去をめぐって 宮川 絢子
- 仕事も家庭もという選択…第二次世界大戦後におけるスウェーデン女性の社会進出及び家族政策 森井 佳世
- 西欧における戦争観の変遷とキリスト教の関連  
—ローマ末期の義戦論から十字軍の聖戦まで— 矢木 孝幸
- アンデイルウオーホルのポップ・アート…消費とコピーの芸術 八幡 武衡
- アルコール飲料と娯楽  
—18世紀、19世紀イギリスにおける飲酒の意義— 横山 大一郎
- 冷戦草創期のアメリカ外交  
—ジョージ・ケナンの理論を中心として— 吉岡 俊一
- アルフレッド・セイヤー・マハンの再評価  
—19世紀末以降のアメリカ海軍、米独・米日関係— 脇田 竜一
- を題材に—  
フェーデの心性…中世ヨーロッパにおける「公正」観念の考察 渡邊 智子
- ヨーロッパ統合にみる越境空間と領域解体の諸相 前田 郁
- イギリス多文化主義社会  
—国家統合の可能性について— 伊藤 芳枝
- 中世ヨーロッパの家族と女性  
—契約結婚から友愛結婚へ— 清水 貴子
- 現代アルゼンチンにおける社会問題とベルソナリスモ 藤原 寛明
- フランス革命期における公教育の再検討…啓蒙思想から考えるポスト・ナショナリズムの教育構想 奥野 憲司
- ゲッベルスの「政治」 押田 有紀
- 現代アメリカ「恐怖」映画における恐怖の表象 島田 隆明
- デイズニー社の経営戦略…メディア・ミックスの利用と成功 森川 美子
- 古代オリンピックの祭典競技について 津山 啓太
- ハイチ革命 村山 涼太
- 地理学科 地理学専攻
- 京野菜の流通と普及の取り組みの現状 芦田 香里
- 中仙道妻籠宿における観光開発の現状と展望 阿部 渉太
- 岐阜県下呂温泉における観光地としての発展と現状 荒木 良太
- 京都市におけるホテルの立地特性 安藤 公一
- 植民地都市京城府における企業立地からみた都市構造 伊香 雅文
- 高槻市における地震災害危険度評価と避難・救援経路 亥子 大輔

- 北海道における地価変動と都市階層の経年変化  
植村 真也
- 市町村合併の経過と変遷  
—合併の設立条件— 鶴飼 倫宏
- E・M・フォースターの『モリス』からみる  
社会空間のイメージ 大野 藍梨
- 京都市における地震災害の地域特性  
—旧市街地と新興住宅地との比較— 大屋果菜子
- 景気停滞期における京都市のオフィス立地の変容  
岡 文恵
- 若者と高齢者の京都に対する意識の違い  
岡本 太志
- 宮沢賢治の作品から求められる西域のイメージ  
小田 武
- 京都市、名古屋市の中心市街地における駐車場  
立地の変容 —1980年代～2000年代—  
面高 正行
- 京阪神大都市圏における、都市圏多核化・構造変容  
についての考察 恩田 壮人
- 脳卒中における死亡率の地域差とその要因  
鹿島 英隆
- 奈良県内の大和川流域におけるGISを用いた  
水害危険度評価 亀井 千尋
- 京都市都心部における地蔵の分布パターン  
川下 浩平
- 校歌にみるランドマークの認知について  
—兵庫県中播磨地域を例に— 北 琢磨
- 大阪府におけるコンビニエンスストアの立地展開  
木村晃一郎
- 京都市右京区京北における朝市の成立 草川 幸絵
- 京都市における書店の立地展開  
—1986年から2004年まで— 熊木 陽之
- 民俗体験への参加者における認識差  
—京都府八幡市のふるさと学習館を事例として—  
黒田 尚寛
- 都市内部における気温・路面温度の特性  
—堺市中心部を例に— 桑原 崇
- 神戸市における製造業企業本社の立地展開  
小島 泰成
- 物理的障害が引き起こす視覚障害者の生活空間  
への影響 齊藤 翔子
- 北野商店街とその周辺を例に— 齊藤 翔子
- 阿武隈川流域における地名と水害との関係について  
齋藤 司
- フリーマーケットの現状とその空間的意義  
—関西地区のフリーマーケットを事例として—  
阪田 真崇
- 浜松市における外国人労働者の雇用と生活  
佐古 大尚
- 岡山市中心商店街における構造変化  
—消費者の購買行動・商店街評価の分析—  
澤口 和樹
- 「街」新風館・三条通界隈と北山の比較分析  
—来街者と開発主体の分析を中心として—  
助野 彰昭
- 住民・行政・観光客からみた町並み保存地区の特性  
—京都市右京区嵯峨鳥居本を事例として—  
鈴木麻里衣
- 大阪市におけるホームレスと住宅事情 関 孝幸
- 関西文化学術研究都市におけるロードサイド店舗  
の立地展開  
—主要道奈良・精華線を事例に— 千石 和也
- 人口減少村落における移住者支援活動と移住者の  
定着過程  
—京都近郊の一集落を事例として— 高木 智康
- 郊外型大型店の進出による既存商店街への影響と現  
状 —新潟県柏崎市を例に— 高桑 始
- 大型店の立地と購買行動の変化  
—ダイヤモンドシティ・ハナの新設を事例に—  
田村 裕美
- 都市近郊農村における自治会の変容  
—京都府八木町を事例として— 辻 昂
- 駅に開業した複合商業施設の影響  
—札幌JRタワーを例に— 十河 孝行
- 地方圏における広域的公共交通施策に関する考察  
徳永 達樹
- 京都市におけるクリーニング店の立地展開  
戸嶋 昇平
- 大道芸人の行動様式  
—天保山ワールド・パフォーマンス・フェスティ  
バルへの参加者を例にして— 中井 智賀
- 家庭系一般廃棄物の収集・処理における地域特性と  
住民意識 —京都市を事例として— 中山 茂

- 立地条件からみたニュータウンの現状と今後の課題  
 — 平城・千里ニュータウンを事例に — 新岡 朝
- 京都市における映画撮影所の変遷 西 雅徳
- 大規模小売店撤退による地域商業への影響 仁野 勝
- 京都市における高齢者福祉サービスの供給  
 — 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を中心として — 野中 洋平
- 保育施設とその利用者行動の時空間的特性  
 — 京都市西京区を事例として — 服部 恭子
- 京都市における銀行の立地展開  
 — 戦前を中心として — 長谷部俊之
- 福井県の2つのスキー場における集客対策の比較  
 — 今庄365とスキージャム勝山を例として — 濱崎 尚子
- 四条通における景観と都市的土地利用の変遷  
 — 四条河原町と祇園を中心にして — 林田 桃子
- 日本の連続放火事件におけるミクロな犯罪空間  
 分析論の有効性について 坂東 秀行
- 宮島の観光について  
 — 表参道商店街を通じて考察する — 日原 功介
- 映画制作過程における時空間的制約  
 — 時代劇映画「花よりもなほ」を例に — 深川 貴史
- 箕面市における図書館利用の空間分析  
 — 距離と蔵書分類に着目して — 福井 理人
- 温泉観光地の選好とイメージ評価 福本美奈子
- 宗派別にみた山上ヶ岳信仰圏の空間構造 藤井 有希
- 人口変遷にみる住宅特性  
 — 兵庫県明石市を事例として — 藤木 俊和
- 地域の特性から見る児童の安全性に関する考察  
 — 神戸市の小学校を事例に — 藤本 実希
- 京都市東九条の場所の系譜  
 — 在日韓国朝鮮人の集住地区を事例にして — 船津 早織
- 町並保存に伴う観光地化 — 愛媛県内子町を事例に — 古川 岳
- 京都府における犯罪の空間分析  
 — 犯罪の統計と新聞での掲載数の比較を通して — 朴澤 恵明
- ストリート・パフォーマーにみる活動空間の成立要因  
 — ストリート・ダンサーを例に — 牧野きく子
- 関門・北九州における観光地域振興について 松本 孝文
- 京都都心部における改修京町家の現状と  
 形成過程について 水野 大輔
- 都市公園の立地における共同住宅の変化 満島 孝文
- 市議会議員選挙立候補者および当選者の  
 地区別分布状況 宮坂 祐太
- 小・中学校校歌にみられる郷土  
 — 福井県嶺北地域を例に — 宮野 美香
- 京都市内における公衆浴場の立地展開について 宮久 敦夫
- 京都市におけるピザ宅配業の立地展開 陸野 康孝
- 介護保険制度導入に伴うサービスセンタの立  
 地展開 — 京都市上京区を事例として — 村山永里子
- 京阪神大都市圏における小売商業の立地変化  
 — GISによる分析 — 森本 義人
- 京都市における公衆浴場からみた地域特性 山口 誠央
- 近代の京都における酒造業と出稼ぎ集団  
 — 職階制度に着目して — 山崎 美幸
- 子どもの遊び空間と暮らし方  
 — 遊びと教育 — 山崎 由水
- 農産物直売所設立による地域への影響 — 京都市  
 右京区嵯峨越畑地区を事例に — 山下周一郎
- 京都市営地下鉄東西線開通・延伸における  
 周辺地域への影響 山田 麻生
- キャンプ場の立地とその利用者特性  
 — 奈良県を事例に — 山田 敦之
- 日本の主要都市に関する都市イメージと居住地選考  
 — 京都の大学生を対象として — 山田 智和
- 気候変動と土地利用変化の関連性 山野 順大
- 伊賀上野における文化的観光資源を活かした観光開  
 発 — 観光客への取り組みを中心に — 吉田 大輔
- 京都市における人口高齢化と地域的差異 吉田 宗樹



大学生を対象にした空間認識研究

立命館大学衣笠キャンパスとびわこ・くさつ  
キャンパスを事例に 渡部 瞳

水田基盤を構築する環境条件の地生生態学的考察

新潟県五泉市大字山崎を事例に 渡邊 泰崇  
京都市における在日留学生の生活様式 伊藤 優

時間利用と生活行動記録からみた大学生の自由行動

立命館大学衣笠キャンパスの学生を事例に 村田 悠介  
京都市北西部における地名のイメージと分布範囲 福岡 聡

大阪府公立高校における学区の変遷と学区間の

学力格差 茅原 一幸  
政令指定都市について 白石洋一郎

都心部における分譲マンションの立地

大阪市を例として 古澤 康之  
京都市伏見区淀のギャングブル空間 迫田 亜矢

観光ガイドブックに見る地域活性化事業の現状と

課題 滋賀県下の宿場町地区を事例に 清水 尚寛

中国内陸部小城镇における少数民族の出稼ぎの

発生要因と職業傾向 中国雲南省西北部の事例 雨森 直也

維持運営からみた現代における祭りの変容と

その全体像 信州遠山郷霜日祭りを 本多 健一

事例として

大都市圏における公共スポーツ施設の立地展開 京都市、大阪市、枚方市を比較 荒井 貴士

過疎地域における公共バス交通の利用実態

京都府旧京北町、日吉町の事例から 伊熊宏一郎

山形県南地域における介護の特性

多様化するツーリズム 歌丸 和明  
那覇市のゲストハウス調査より 越智 涼子

京都市北区における防災組織の地域的役割に

関する考察 加藤 裕明  
福岡県田主丸町と兵庫県宝塚市における

植木生産の変容と現状

塩足 啓介  
外国人観光客のもつ京都の場所 イメージと 東 美香

その差異についての考察

住居環境から見た借家の高齢化と国際化の 関連性について 大阪府を事例として 万代 博史

出生力の地域較差とその変動について

段坂 哲哉  
地場産業地域における関連施設の跡地利用について 奈良県桜井市の木材産業を事例に 藤谷 憲司

高蔵寺ニュータウンの形成と再編

山本 剛史  
単身者用集合住宅の立地展開 京都府京田辺市興戸地区・三山木地区を 事例として 江口 正

草津市におけるコンビニエンスストアの立地展開

石原 賢二  
電気街の変容について 大阪・日本橋地区を事例として 中川 誠一

事例として

京町家の変容 栗林 恵子

人文総合科学インスティテュート (言語と文化)

ドイツの食文化について 大菅 夏樹

カイロプラクティックの可能性と意義 岡 裕美

小説「にわたりの涙とひよこのひよこ」 岡崎 広志

プラトン『カルミデス』について 木下 孝一

今日のラーメン文化のあり方 小島 晃

京都市の将来像 歩くまち、を目指して 塩見衣莉香

雅楽と能楽における口頭伝承と楽譜 滝川 友香

日本人と「間」の意識 近代に誕生した新たな語り 谿 早央里

ストーリーテリング 中世地中海におけるジェノヴァとジェノヴァ人の 役割 徳永 脩

日本人の記号的な感性 日本舞踊と化粧文化比較 中村 大介

おちよぼ口の日本と微笑みのタイの美観 伊斯拉エル・パレスチナの和平案の問題点と 今後の課題 真島 麦

ドイツの代表的産業、ビールについて 安田 衣里

ビール醸造の発展と純粋令 湯川 真由

源氏物語から見えてくるもの

— 出家を望む女性達 —

吉田祐香理

著作権と創作の場に於ける知的財産所有の問題とは

吉村 邦子

多文化主義に関する考察

大髭 達也

漫画『タンタンの冒険』の魅力について

堀江 友貴

ナポリ方言

— ナポリ方言にみる言語と文化の相互関係に

ついて —

徳弘 有美

ポストロックの反逆性

太田 達也

## 人文総合科学インスティテュート

## (人間と表現)

「システム・インストゥルメント」と

記号化される音楽

秋山 昌史

若い死 — 映画に見る描写 —

飴野 優美

「エルヴィス・プレスリー」という始源

井手 雄一

黒沢清『ドッベルゲンガー』論

上野 佑太

子供をくるむ装い

— 町人の信仰と教育 —

浦部 愛子

ブライダル産業について

— 婚礼マーケット拡大に必要なものとは —

小川 裕子

「グッバイ・モーツァルト」

— コミュニケーションをめぐる考察と実践 —

数井謙一郎

アフリカの歴史と今後

冷水 千春

タイムレス・トリロジー — 紀子三部作に見る

小津映画の完成形 — 菅 武志

アガサ・クリスティーの作品とミステリー

— 『プリマス行き急行列車』を題材として —

菅沼 冬

文様になった文字

— ファッションとしての消費 — 中川貴美子

子どもたちのレジスタンス

— テレジン・ユダヤ収容所での隠れた文化活動 —

中村 朋子

ニジンスキー『春の祭典』

— バレエ・リュスの前衛性 — 新村 真穂

「時間」と物語ること

— 小説・映画のいくつかの作品をめぐる —

西川 真悟

巨大仏はなぜ造られたのか

アマチュアリズムから商業主義へ 西川 葉子

— 近代オリソピックの変貌 — 畠山 和久

足と靴のエロティシズム

— 「曖昧さ」とモードの関連性について —

濱口万李亜

ファッションの美学的考察 樋村 綾香

江國香織論 松本 彩

能のからくり

— 能「敦盛」におけるワキ僧の役割 — 柳田 具子

テレビ人形劇の時代 若林もゆる

ガーナの野球 和田 敬太

日本の入浴文化

— 銭湯とスーパー銭湯 — 長嶋美奈子

「コム・デ・ギャルソン」の「黒」からの「西洋モ

ード」の革命 — 質素・アシンメトリー — 坂本 皓

京都・西陣織「正絵」にみる「御所車」デザインの

伝統 — 日本人に潜む王朝イメージへの憧憬 —

谷野 温子

生成文法と葬送曲

— 言葉とセロにより生命私論 — 青木 泰子

金沢21世紀美術館「ミュージアム・クルーズ・プロ

ジェクト」と「対話型美術鑑賞」の可能性

— 「美術館」はだれのためにあるのか、

そして「アート」とは何か — 村山 美希

盗賊が歴史に及ぼした影響 上田 欣弥

「不登校」運動と〈当事者〉の表現 福村 幸子

超えてゆく身体

— レイヴ(トランス・パーティー)をめぐる —

吉野絵里子

デュビュッフェにとつての「プリミティブ」なもの

と「オール・ブリュット(生(き)の芸術)」

— コレクターとモダン・アーティストの結合 —

西田有香子

レコードという楽器

―テクノ・ミュージックにおける「アウラ」―

廣瀬 忠介

藤岡 純子

プロモーションビデオの非プロモーション性

―マリリン・マンソン「Disposable teens」による考察―

久保 亮二

人文総合科学インスティテュート  
(アジアと現代)

「五項目和平プラン」に見る、現在のチベット問題

松本 希美

女性ファッション誌の歴史の変遷

駒田幸太郎

民衆への仏教普及に見る仏画の役割

鈴木 智子

タイにおけるプロステイテューションの社会的地位の確立

宮崎 悠

保田與重郎論

横幕 真也

市場経済化後のモンゴル遊牧民に関する人類学的考察

富田 敬大

丹田文化考

―現代モンゴル牧畜社会研究序説―

望月友紀子

身体表現にみる身体の使い方

湯野川忠史

水をめぐる争いを超えて

人文総合科学インスティテュート  
(文化と社会)

花札の成立と旅との関係性

―そこから見えてくるもの―

伝統的化粧観の変遷

インド社会における女性

―ダウリー問題を中心に―

小学校教育における教師の在り方

グローバル化における国家教育のジレンマ

タバコと喫煙

フランス・パリ近郊地域における教育制度の問題点と若者の犯罪

―移民労働者の視点から―

日本文化“茶”を探る

浮世絵のなかの遊女の「唇」

日本の伝統的化粧と美意識

移民の歩んできた歴史

アルジェリアの近代化とナショナリズム

多様化する在日像と不変なる在日像

ネパールにおける観光開発と保全

戦争と映画

―戦時下における日本映画考察―

日韓比較文化論

―異なる美意識の源流―

持続可能な観光へのアプローチ

家族の描写からみる京極夏彦論

混ざり合う身体

―『新しい年代記と良き統治』にみる

混血の表象―

日本における雇用の問題とこれから

京都における全共闘運動

―全共闘世代の心性に注目して―

神と人と芸能が共存する島バリ

日本人のカレーライスへの愛

―カレーライスの歴史から考える―

仏教の女性観 ―近代を中心として―

テレビ時代における映画産業への影響

―「踊る大捜査線」がもたらしたもの―

消費される東京デイズニerland

中国の反日

張芸謀論

日本の捕鯨文化にみる自然観

―人と鯨のかかわりあいから考察―

インドシナに跨る民族問題

分林 和美

木村 綾子

森本 早美

安田明日香

桑野 慶子

矢倉 槿子

青松 載博

井上 啓子

汲田 恵美

辻本ゆりね

舟瀬 健治

木村 草多

野村 智広

北島 直幸

久米 浩子

榊原 千晶

白美和子

永井 友乃

青笹 千絵

人物の好感度と状況設定が表情認知に与える影響

について

大学生における親の養育態度とシャイネス傾向

との関係

浅井 幸恵

- 活動量の変化が時間体験の評価に与える影響について  
阿瀬 純
- 集団における居心地の悪さに関する質的調査  
— 暗黙の上下関係を題材として — 安部 和聡
- 重度の障害児における携帯電話を使用した  
コミュニケーション行動の変容 飯田 真希
- 青年期における死生観と心理的発達との関連性  
石津 美穂
- 大学生におけるプレゼンテーションスキルの向上  
「支援ツール」を考えるシード」の効果検討  
和泉 智子
- タイプA行動パターンにおける時間切迫感について  
市谷 章
- 架空の想像物に対する幼児の認識 伊藤 詩乃
- 自己評価・自己受容と他者からの評価の受容  
井上 和夏
- 書字スリップと文字の類似性の関係 井ノ上貴子
- 大学生における慣用色名の認識及び判別  
井上 知香
- 色の記憶 — PCCSカラーカードによる再認 —  
井上 和子
- ゼロリスク達成の確率におよぼすリスク削減  
プロセスの効果 井原夕紀子
- 重複障害をもつ生徒に対する意志表出トレーニング  
の実践と検討 植田 恵美
- 不安における認知的統制のストレス緩衝効果  
について 上田 裕子
- 協同問題解決場面における説明原因の棄却が起こる  
過程の研究 上村 義孝
- 青年後期女子における同性及び異性意識と理想体型  
との関連 嬉野 愛
- 大学生におけるあがり対処法の効果に関する  
実験的研究 江角めぐみ
- 化粧行動と自己意識及び他者意識  
選択における曖昧性忌避と競合性の関係  
大井 菜穂
- 青年期におけるストレス対処可能性の規定要因  
に関する探索的研究 岡原 圭佑
- 再認記憶における環境的文脈効果と項目の興味度  
岡本 美咲
- 食い違いの見られる証言についての供述心理学的  
検討 「浜松事件を題材に」 小笠原安里子
- 世代間に見る比較広告の訴求効果の検証  
「注目度、理解度、信頼度、反感度の検討より」  
尾崎早希子
- 電車内での横ならび会話における視線行動  
尾崎 由季
- 大学生の交友関係  
「親友と友人に対する期待の尺度」 小澤 慶幸
- 大学生の対人葛藤方略モデルに関する研究  
「対人文脈と葛藤場面による効果」 小田 牧子
- 自己高揚・自己卑下呈示の印象形成効果  
— 推測された動機の影響 — 織田 涼
- 服装の色と形がテンポの認知に及ぼす影響  
加瀬 祥子
- 大学生における失恋ストレスコーピングについて  
桂 岳志
- 一般大学生の無気力傾向と父性、母性の志向性との  
関連 金子 朋美
- 顔の局所的ならびに全体的特徴の処理水準の違いと  
顔の再認記憶成績との関係 鹿野ひとみ
- 成功・失敗経験がセルフ・ハンディキャッピングに  
及ぼす影響 神島 悠香
- 階層的概念地図作成は文章生成にどのような効果を  
与えるか  
— どのような階層性を持てば文章の質が高まるか —  
河合 賢太
- 説得メッセージの印象にムード状態が及ぼす効果  
川合 理恵
- エモティコンによる感情伝達の促進効果に関する  
検討 川嶋 剛
- 血液型ステレオタイプに基づく偏見に関する語りの  
分析 川嶋 伸佳
- 自尊心と自己評価維持モデルの観点から見る不協和  
低減行動 川西 美咲
- コールド・プレッサー課題におけるアクセプタン  
ス・エクササイズの効果 — マインドフルネス・  
スキルの違いをもとに — 河本真友子
- 筋萎縮性側索硬化症患者者のコミュニケーション・ボ  
ード改善によるQOLの拡大 北郷奈津子
- 抑うつ傾向と認知に関する研究 北澤 綾香
- 青年期における自己開示と孤独感の関連性  
北沢 桃子

情報機器の操作説明書からの理解と操作に及ぼす

下線の効果 木村 信也

ストレスに対するコピーングの日米比較

—対処法としてのソーシャル・サポートの分類と

その実際— 工藤 佳奈

創造的問題解決におけるメタ認知的処理の操作と

無意識的プロセスの影響 工藤 恭之

通俗的心理テストのフィードバックによる自己成就

現象 倉島 啓

征服の着崩し行動から見る女子高生の集団心理

黒島 陽子

幼児の矛盾した表情表出理解における他者存在の

影響 桑原麻里子

ライブパフォーマンスにおけるステージング要素と

観客の印象形成 小出 哲平

評価懸念が自己卑下呈示行動に及ぼす影響

河野登樹子

文字列が傾いて見える錯視における水平成分の役割

小原 未紗

異なるキャリア志向における性役割認知と達成動機

の関係についての考察 小林 未来

—大学生を対象にして—

大学生におけるソーシャル・サポートの互恵性およ

び自己受容性が感情状態に及ぼす影響

小見山祐佳

睡眠障害とうつの関連性

—青年期と中年期の比較から— 榊原 寛之

再認における生成効果と知識量の関係

—体制化説の検討— 坂口 弘樹

認知的不協和理論における自己評価維持モデルの

応用 桜井 尚美

駄菓子屋の考察 笹木 知恵

—駄菓子屋のおばちゃんを利用者の観察から—

図地反転図形のvisibilityに及ぼす色の効果

佐渡祐一郎

親密性の違いから見る幼児の三者関係における

協力行動の特性について 完戸 礼菜

記憶の熟達 —演劇の場合— 志師本宏美

睡眠下でのイメージが創造性に与える影響について

篠田 朋宏

幼児の社会的問題解決方略

—他者の知識・意図理解との関係から—

自己知識の多面性と対人関係に関する研究

清水 奈々

認知インタビュー手法による想起促進

—面接者が刺激内容を知らない場合— 親家 泉

発達障害児に対する集団学習・個別学習の行動面へ

の影響 下川 周

—公文教室の学習場面におけるビデオ分析を通し

て— 鈴木 祐寿

抑制機能に注目した行動調節機能の検討

—二重課題条件下でのSRC効果— 鈴木 真澄

大学生の認知スタイルの傾向と抑うつ度・自己受容

度との関連 鈴木麻里子

共感と自尊心の注目操作時期が援助行動に及ぼす

効果 鈴木 佑美

大学生における世代交代の認識とソーシャル

サポート 鈴木 芳史

ウェブページ上の縦スクロールと文字の見やすさの

関係 澄川 愛子

同空間に共在する他者の観察行動が気分と課題遂行

に与える影響 曾我部 茜

大学生のコミュニケーション能力向上における行動

的コーチングの効果の検討 高田 勇

—適切な応答スキルを中心に—

知的障害を持つ養護学校生徒の職場実習における

学生ジョブコーチの実践とその役割 高津 周平

内部告発に至る要因 —組織コミットメント・個人

と組織の価値観の一致との関連性— 高津 知弘

サーカディアンリズムが老年期の抑制機能に及ぼす

影響 —SRC課題を用いて— 高橋 信吾

個別指導場面における読解方略の獲得 立花 葉子

暴力映像の表現特性が正当化された場合の視聴者の

感情反応に及ぼす効果 檀上 萌

自由再生と再認記憶における自己、他者、理想自己

関連付け課題の効果 丁 愛美

日本語非母語話者との会話における母語話者の言語

的及び意識的配慮の検討

—異文化で非母語話者としての経験を有する母語

話者の場合— 千葉 早絵

新聞広告の形状におけるイメージのとらえ方および

ユニークネス欲求との関連について 辻 絵梨乃

- 音楽の感情価が絵画印象評定に及ぼす影響 辻 かなえ
- 野球におけるバント技能の改善…言語によるコーチング効果の検討 辻本 勝洋
- 音楽聴取による気分誘導が文章記憶に及ぼす影響 富樫 一拓
- 加齢に伴う中年の長期記憶の衰退  
 ↳連続再認テストを用いた検証↳ 時武 佳希
- 愛着ストーリー完成課題への幼児の反応の分析 中出佳代子
- 児童期後期における対人関係が学校適応に与える影響 ↳ソーシャルサポートと社会的スキルの視点から― 中尾 喜咲
- リズム再生と音楽経験の関連性について 中山 英知
- 駅の広場における「人」と「人工物」の共存 ↳両者の偶有的な出会いの概念― 永井 華子
- 複数の展望的記憶に関する意図優位性効果の検討 長尾 淑美
- 子どもの学力低下について ↳読み・書き・計算が子どもの学力に与える影響 ↳長支 春菜
- 課題の重要性が気分一致効果に与える影響 南部 有子
- 文章理解における筆記と作図による説明の影響 新聞 崇真
- ペイズ推定における基準率錯誤と等確率性仮説 西田 豊
- アメリカンフットボールにおける行動的コーチングの既知化過程における観察者の態度の効果…既知性の指標として未知顔の内部特徴・外部特徴刺激の差異を用いて ↳異画像でも同じ効果が得られるか― 西村亜佐美
- 聴覚情報による負荷が視覚ターゲットの検出に及ぼす影響 服部 正芳
- 大学生における恋愛依存と性格傾向の関連 橋本 光
- ポジティブな内容のポスター掲示による迷惑行為の軽減に関する研究 長谷川尚子
- 大学生における対人恐怖心性と自己愛傾向との関連 長谷川優花
- 学校場面における脳トレーニングの効果の検討 ↳中学生を対象に↳ 花田 英美
- 思考の抑制における代替思考および認知・対処方略の効果に関する実験的研究 花房 高志
- 陸上ホッケーの指導への行動分析的介入 林 梨沙
- 料理本の学習における先行オーガナイザーの効果 ↳具体的アナロジーの側面から― 樋口 七菜
- 面接場面における「悪い癖」行動に対する拮抗行動の形成・強化・一般化 ↳行動分析学的手法を用いて― 平塚 基
- 食事直後のドーピング・フェイステクニク 平林 侑子
- 雅楽楽曲における感情について 府川 優介
- コンビニのエスノグラフィー ↳店舗内購売行動と非購売行動の観察から↳ 藤井丹菜子
- 大学生におけるタイプA行動パターンのストレス認知・対処行動に与える影響 藤本 絵美
- 風景写真の印象評価に及ぼす気分の効果に関する実験的研究 益川 慎平
- バトミントンにおける心理的競技能力 ↳競技成績との関連から― 松田 卓也
- 自己スキーマの望ましさの差異が印象形成に及ぼす影響 松永 充生
- 順序性を伴う行動のスキーマと事後情報効果 松本 順
- 空想の内容と感情への影響について ↳ポジティブな空想は不快な情動を和らげることができるか― 松本真由美
- ネイルアートにおける錯視の研究 光山 祥代
- 情動的ストレスが目撃者の記憶に及ぼす影響 三原 麻美
- 表象の具体化における「発話にともなう手振り」の効果 美留町直子
- 匂いを気分誘導刺激として用いた表情認知における気分一致効果研究 村岡 絵美
- アラビア数字と漢数字を用いたプライミング時の左右半球の比較 ↳EPRSでの検討↳村上 敦俊
- ダンスのパフォーマンススマネジメント 村田 薫
- 選択と自我関与が内発的動機づけに及ぼす効果 村山 洋子

- ENIRSを用いた、異なる記憶検索状態における  
 脳の活性部位の比較 保田 尚子  
 他者理解水準からみた幼児の相互交渉場面の分析 安松あず紗  
 背景色による文章理解への影響 谷萩 夏樹  
 歌の調子はずれのための行動分析的治療 山口 明香  
 大学陸上競技選手の心理的ストレス 山下 博貴  
 グループの同一視の評価におけるネガティブな効果の抑制 山下 祐希  
 タイピング場面における目標設定がセルフ・マネジメントの遂行にもたらす効果 山中 康主  
 快／不快感情をとまなう文に関するエピソード記憶とパーソナリティ特性との関連について 吉岡 淳子  
 大学生における二重拘束的メッセージが受け手の情動に及ぼす影響 吉田真理子  
 S R C課題を用いた抑制機能の日内変化及び加齢による影響の検討 金 聖眞  
 青年期における恋愛類型について 千 允銃  
 —韓国と日本の比較と検討— 程 懋文  
 外国人留学生の疾病と治療調査 酒本亜矢子  
 摂食障害からの回復と自己肯定感の関連について 出倉 知佳  
 子への意識の違いが母親の絵本読み聞かせに及ぼす影響 出倉 知佳
- 青年期の居住体系による家族認知構造の差異に  
 ついて — Family System Testを用いて — 中野 涼太  
 視覚短期記憶に対する受動触の影響の検討 長濱 知之  
 他者への訴え方 表現 桂 沙希  
 将棋感想戦のフィロドワーク 小堀 綾  
 死を意図することによって起こる行動変化 高原 麻見  
 セルフ・ハンディキャッピングの公的条件と私的条件の比較 阿部 紗里  
 大学生の友人関係とアサーションとの関連 —ふれ合い恐怖と友人への欲求の視点から— 稲田亜希子  
 幼児における時間の構造的理解 岡本 哲知  
 大学生の回想からみた自己の身体に対する意識の発達的变化 加藤 美代  
 高齢者の展望的記憶と想起実行の要因 川崎 千佳  
 Consistency versus fragmentation in understanding of the naive knowledge: A case of sound 川那部隆司  
 きょうだい関係、親の養育態度と性格傾向の関連について 高橋友里絵  
 自己焦点化が援助行動に及ぼす効果 坂野 未来  
 大学生のストレスと生活習慣に関する研究 藤原 ゆか
- 青年期における「ひとりであり得る能力」について  
 —孤独感との比較から— 松浦 愛  
 脳機能向上課題とフィードバックを用いた小学生における「学力」及び「学習意欲」に対する取り組み 安永 和央  
 就職活動におけるうわさ流布のメカニズム 久野 知美  
 社寺における参拝行動の心理学 吉村いずみ  
 電車内の化粧行動が語る日常生活の文脈とは 藤關 晶子  
 妊娠中の至適体重増加に対する行動的介入 —携帯画像メールを利用した食品数報告と体重変化の関係— 飯塚 洋子  
 独居認知症高齢者の「失禁」に対する行動的介入 —排泄行動に対する環境条件の検討— 音部 玲子  
 定年退職後の老後生活観に関連する要因 加藤美穂子  
 子どもの内省能力の発達 —二次的信念の理解との関連から— 鹿子木康弘  
 1歳6ヶ月児健診場面における母子の情緒的交流の分析 木原 宏美  
 痴呆性高齢者における「なじみの歌」を使った歌唱セッションの効果 曾根 隆子  
 育児ストレスと携帯電話の関連について 坪上 初美  
 老人介護職員におけるストレスの軽減・緩和に示唆される要因の調査研究 寺脇 佳世

高次機能障害のある高齢者に対する音響刺激による  
行動確立の試み

西尾 由美

中年期の精神的健康についての検討

— ストレッサー・認知的評価・コーピングとの関  
連 —

西田 美紀

写真付料理レシピの開発

— 支援ツールの利用拡大を目指して —

藤田 真実

携帯電話を用いた育児支援の検討

喜多 早苗

乳児期での親の関わり方と高校生になってからの  
心理的特徴

平野 奈美

子どもの生と死に関する意識について

佐藤 順子

セルフハンディキャッピングと自意識

石田麻美奈

日常の社会的行動における逸脱判断の研究

井上 大輔

話者間の精神テンポの差がコミュニケーションの  
円滑化に及ぼす影響

大石 周平

— 交替潜時を指標として —

川井由里子

気分一致効果の非対称性についての検討

木戸 啓雅

セルフハンディキャッピングの自己呈示側面

久保田智之

スマートラ沖大地震被災者に対する心理社会的ワーク  
シヨップの実践

黒ノ川文哉

共感的コーピングと対人ストレスイベントとの  
関連性について

嶋倉 健二

錯視的輪郭に音刺激が与える影響

鶴本 英雄

出来事に対する感情が主観的経過時間に及ぼす影響

林 源人

正・負の理想自己と自己嫌悪感情

林 信孝

青年期における親子関係と友人への依存性に関する  
研究

平舘 雅美

謝罪文に付与された顔文字が与える影響

舛田 憲彦

— 受け手の感情を中心として —

山中 渉

楽曲のテンポがその楽曲の印象に与える影響

松本さやか

「大きさ判断課題」からみる幼児のことはの発達

川田 貴之

— 麻雀を用いて —

生石 祥子

高齢者の手順文理解に及ぼす標識化の影響

斎藤 愛

大学生における不思議体験の実態調査

上野 友実

A君の社会性と興味の幅の広がりを目指して

高田 磨

— 遊びと買い物スキル獲得に向けての関わり —

齋藤 愛

二次元平面と三次元空間における日常風景認識と  
再認の比較

高田 磨

ライバルとして表記される人物に対する対人感情に  
ついて

高田 磨

テーマリサーチ型ゼミナール

LAクラス (他者問題と文化理論)

外遊びにおける子どもの人間形成

上 長生

〜外遊びの重要性〜

堀江 謙一

改変される身体

久保 友香

〜メディアをめぐる考察〜

中村 早紀

被差別部落問題とまちづくり

小松 優子

〜滋賀県の取り組みと背景〜

東田 早織

『星の王子さま』における他者との関係性と  
その変化

東田 早織

〜サンIIテグジュペリの人間観〜

東田 早織

日本庭園の特色

東田 早織

農家の中の女性

東田 早織

〜家族農業経営における女性の位置〜

東田 早織

LBクラス (ジェンダー)

スカートとズボン…装飾によるジェンダー分割を  
乗り越えるために

西澤 正美

ナチスの強制売春と優生学

本 圭輔

〈ピンクの女〉と「女らしさ」

北浦 春菜

ダイズニーの「白雪姫」におけるジェンダーの  
再生産システム

佐々木絵理



日本女性観 〽女らしさ“はいかに

つくられたか

田内真由美

中世祇園社の犬神人

落合麻里英

写真における暴力への可能性

〽見る側からの考察

工藤まりえ

現代女性の結婚観 〽女性誌『an・an』の

LHクラス(教育を見直す)

遊びを奪うという暴力

末吉 真弓

分析を通して

前田 怜子

保育所における男性保育士の位置と役割

魔女狩り 〽魔女と聖女

濱口 悠介

LDクラス(中国語文化圏)

中高一貫教育のメリットとデメリットについて

アニメライツの本質

松田 智美

「月份牌」と中国の近代

片山絵理子

小塚 健太

蔵 幸苗

〽菜食主義への問いかけ

片岡 雄介

中国本土の映画検閲問題

丸山 悦子

軽度発達障害・LDの現状と今後の支援

原 侑加

チェチエン紛争における暴力

中林 大介

中国語母語話者に対する日本語教育

増田 悠紀

日本での英語教育重視の傾向について

飯塚 朋可

浮世絵が西洋絵画史に与えた影響

山口 寛正

〽過去の清算と新たな方向性

谷本 清佳

戦後における同和教育の移り変わり

飯塚 朋可

〽ゴッホを通して

石川ちひろ

牛頭天王信仰を探る 〽地方への派生・伝播を

鈴木耕太郎

人権総合学習について

池本健一郎

旅ともの文化 〽大津絵について

村上 浩一

巡って

高橋 沙江

しつけ・家庭教育の移り変わりからみる「学力問題」

柏木 知子

中国論 〽中国人論からみる歴史

榎屋敷沙希

LFクラス(京都の時空)

谷本 清佳

〽しつけの手引きの考察を通して

北條 晃一

ラファディオ・ハーンの女性観

早川 知里

上杉家本洛中洛外図における装束について

鈴木耕太郎

単位制高校における学力のひずみ

阪口 美哉

〽「KWAIJAN(怪談)」を中心に

榎屋敷沙希

牛頭天王信仰を探る 〽地方への派生・伝播を

鈴木耕太郎

〽学力問題とメンタルケア

阪口 美哉

から見た明治の日本人

早川 知里

巡って

高橋 沙江

不登校児童・生徒を持つ家族が求める支援と実態

北條 晃一

〽「KWAIJAN(怪談)」を中心に

榎屋敷沙希

巡って

高橋 沙江

〽学力問題とメンタルケア

阪口 美哉

から見た明治の日本人

早川 知里

「京都人」の歴史

高橋 沙江

〽学力問題とメンタルケア

阪口 美哉

から見た明治の日本人

早川 知里

「龍」に彩られた京都

竹内 志歩

〽学力問題とメンタルケア

北條 晃一

日本における「アラビアのロレンス」像

原 育子

京都のまちづくり

竹内 志歩

〽学力問題とメンタルケア

北條 晃一

日本における「アラビアのロレンス」像

原 育子

〽地域社会の衰退と今後のあり方・京都市

真鍋宗一郎

テレビゲームと人間存在

LJクラス(暴力と人間存在)

核問題と非核化への動き

森本 一誠

〽地域社会の衰退と今後のあり方・京都市

真鍋宗一郎

テレビゲームの悪影響についての考察

福良 正隆

〽南太平洋地域を中心に

吉田 正美

御霊信仰から祇園御霊信仰へ

道端 侑子

〽テレビゲームの悪影響についての考察

福良 正隆

三四郎の出会った「西洋」

吉田 正美

観光ガイドブックからみる京都

吉川 恭代

インターネットにおける名誉毀損の問題と

福良 正隆

与謝野晶子の欧州体験論

吉田 正美

〽奈良と比較して

吉川 恭代

インターネットにおける名誉毀損の問題と

福良 正隆

〽帰国後の評論活動・女性問題の取り組み

吉田 有可

「町家学」を開講する

中村 亮介

今後の課題

宅間 敬一

〽帰国後の評論活動・女性問題の取り組み

吉田 有可

## 歴史教科書をめぐる問題

—ドイツを中心に—

小松 淳子

ケルト復興とアイデンティティ

古田 奈美

Madame Butterfly

渡邊奈穂子

日本食品の海外進出

石橋 佳子

Madame Butterfly

渡邊奈穂子

—タイを中心に—

北京市におけるイスラムコミュニティと都市再開発

大塚 栄

『犬と鬼』についての考察

朝倉由季子

井上 真哉

ブルノー・タウトにおける日本観

大髭 文

中国の年金制度について

高野あゆみ

台湾の原住民歌手「張恵妹」がブレイクした理由

金桶 友紀

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—その現状と課題—

在日外国人の不就業問題の解決に向けて

長束 伸哉

小寺 綾

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

日本のインターネットショッピングについて

野口 瑞穂

百貨店の比較研究

中山 陽子

『The Chrysanthemum and the Sword』はなぜ失敗したか

中山 祐樹

現代書における芸術的位置

宮崎 大輔

—阪急百貨店を中心とした比較—

松田 絵里

サー・ラザフォード・オールコック

—初代イギリス公使、ヴィクトリア紳士の目に映った日本—

マレーシアにおける多民族共生

高木 祥子

カフェから見る文化共有と個性

吉丸 明里

An Evaluation of Lafcadio Hearn and His Works

青木 愛

—アメリカの多文化教育について考える—

高木 祥子

フランスの英語教育

世継 千明

Rethinking Nihonjinron

浦野 英里

—多文化世界におけるコミュニケーションツールとしての英語—

白水 朝美

LNクラス（欧米における日本研究）

大橋 有美

SF作品に描かれた日本を通じて…日本が構築する「日本」というオリエン

桑原里欧子

日本における東西チャイナタウン

田中 麻理

ジョン・ダワー『敗北を抱きしめて』の考案

可児 智子

—敗戦から戦後の市民生活復興に向けて—

田中 俊明

—横浜中華街と神戸南京町—

田中 麻理

現代日本に求められる日本らしさとその魅力

可児 智子

—新渡戸稲造による

田中 俊明

在日フィリピン人と日本社会

熊谷 文世

The Influence of Buddhism on the Beats: The Spiritual Quests of Jack Kerouac.

山口 啓子

—普遍性をとおして—

田中 俊明

トルコにおける都市環境とランドスケープの展望

紺屋あかり

Gary Snyder and Allen Ginsberg

山口 啓子

Japanese American Identities and Cultures

杉山 加奈

—日本における移民受け入れの実態—

熊谷 文世

The Influence of Buddhism on the Beats: The Spiritual Quests of Jack Kerouac.

山口 啓子

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—タイを中心に—

石橋 佳子

Madame Butterfly

渡邊奈穂子

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

田中 もも

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—夜間中学校の取り組みを通して考察—

長束 伸哉

『Japan's Gross National Cool』考察

相原 充規

—新渡戸稲造による

田中 俊明

—その現状と課題—

高野あゆみ

ラフカディオ・ハーンから見た明治日本

Conflict and Restoration: Identical Change

in Japan 杉山 朋也

LCクラス (英語教育と

グローバルイゼーション)

戦時下の恋愛 (言説と実態)

吉田 真澄

LQクラス (エコトリズム)

外国人のための“mnemonic”で学ぶ漢字学習教材

Ecotour in Australia 花田 卓

山木 良太

Ecovillage as a Site of Ecostudy tourism

—Auroville as a case study— 松倉 陽祐

英語教育の危険性とメリット  
人にとって言語とは何か

山田 武司

Ecological and Community Tourism in Shiga Prefecture 沖 真由美

TVCNにおけるCMソングとシングルについて

東 理恵

The Importance of Gaining World Heritage Site Status: a Case Study of the Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range

日本語を学ぶ外国人のための漢字辞書  
遊び歌と方言プロジェクト

柿岡 早紀  
木村真由子

from the Ecotourism Viewpoint 黒宮 麻美

漫画・日本とアメリカの文化比較

山中 麻吏

Sustainability in the Hotel Industry 東山さゆり

遊び歌と方言  
ことばと芸術

尾崎 倫子  
久保 健豊

課題ごころ 古堅いずみ

関西に暮らす若者の日本語教材

松井 康幸

Sustainable Tourism in Miyama

～the power and the originality of Local people

柿平亜紀子

戦時下を生きた人々の恋愛観

森實 文彦

The Community Management System with Ecotourism

～The ideal model in kumakougen town～

倉本 学

亀谷 和奈

Ecotourism in Indonesia

～Challenges toprotect the diversity in Indonesia～

井澤 友美

津田 盛行

Ecotourism Using of Virtual Reality Overcoming

the Dilemma of Ecotourism 佐伯 真一

横内 李絵

谷口 翔平

西浦 梓

鈴木万祐子  
南部 恭子  
西川あおい

山本 崇弘  
高島 昌美

LOクラス (イベント企画)

LPクラス (京都の土と社会)

「Artong Project vol.1 企画書 京都放課後宝探し  
及び宝物写真展示企画」

京都の土と社会

上野 祐揮  
中釜 季里  
岡積 登夢  
萩野 真也  
五十嵐絵里子  
石井 葉月  
亀井 円  
川廣 奈美  
菊池 雅子  
久保佳那恵  
立津 裕三  
中津 恵  
中山 亜紀  
西垣 愛  
深津 美緒  
松下 亮介  
南川 恵里  
村上 洋子  
森 まどか  
安永 朋世  
山尾 恒樹

小野寺晋平  
増田 理香  
石川 晃  
一島 政勝  
小川 佳代  
浜野 慎也  
森脇 裕子  
赤尾 舞  
岡下 慶彦  
兼子まり絵  
紀川友美子  
小林 真以  
田中 万裕  
林 かおり  
上野佳奈子